

図1-2-17 介護を受けたい場所

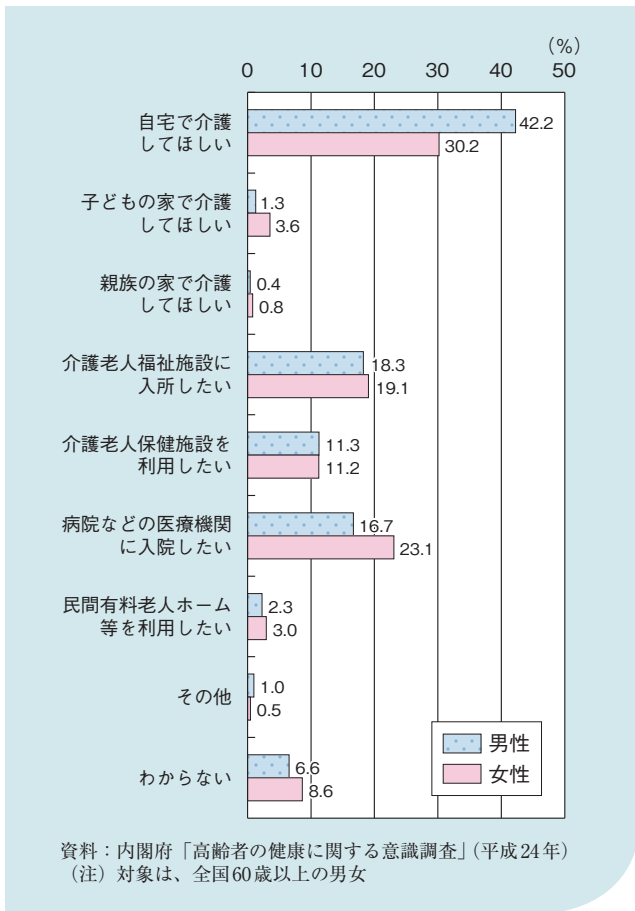
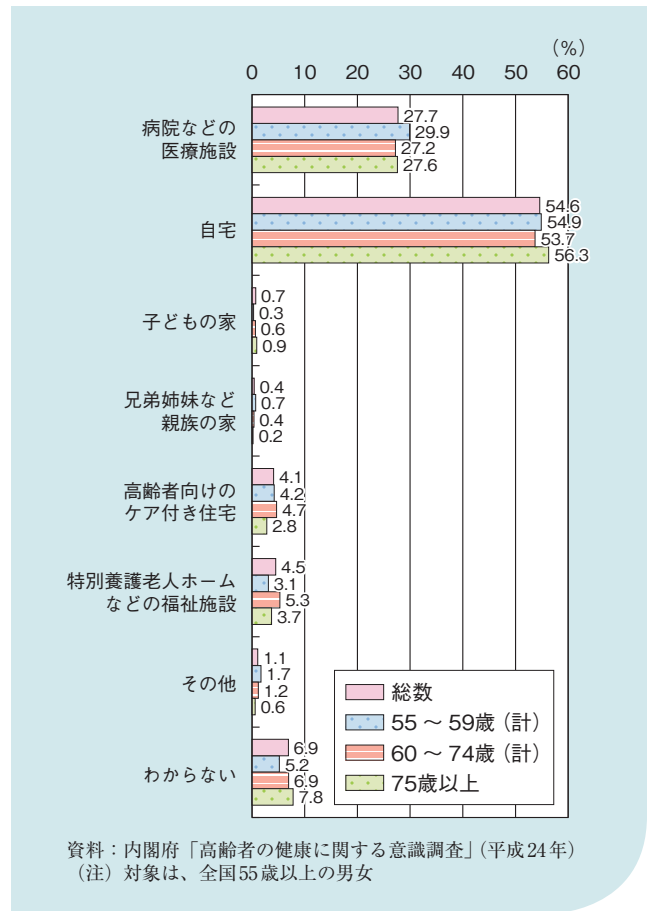


図1-2-18 最期を迎えたい場所

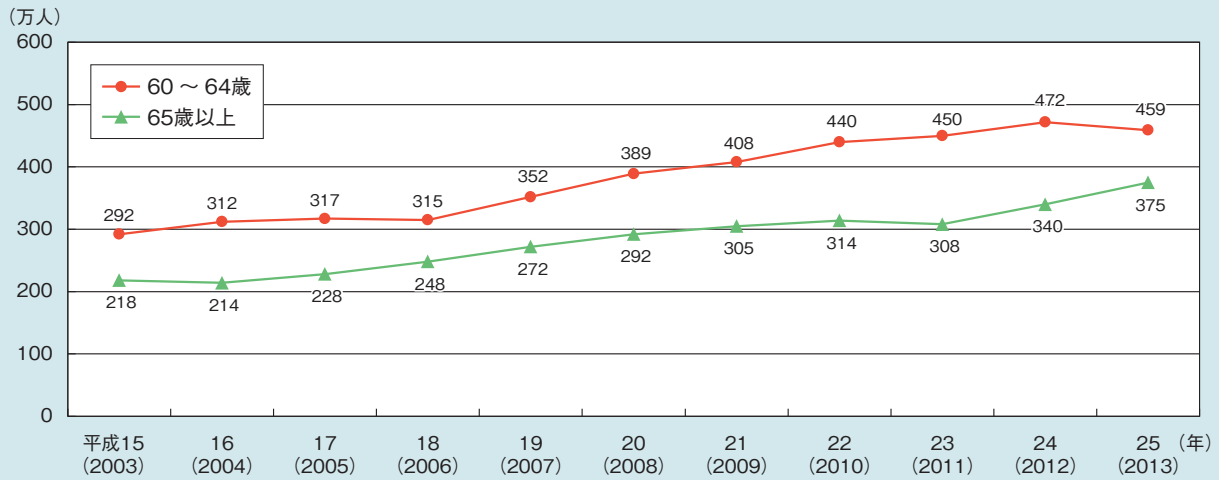


4 高齢者の就業

○高齢者の雇用情勢

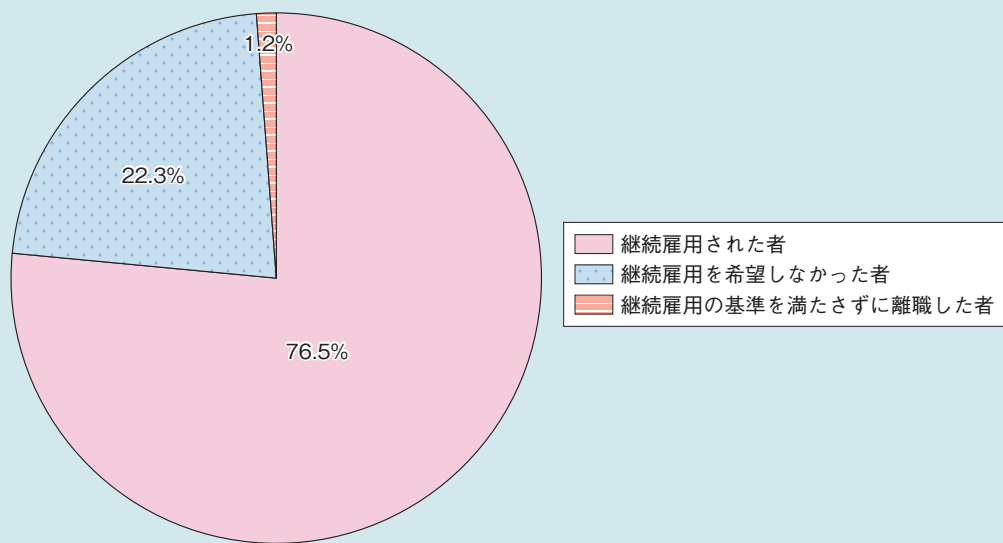
- ・全産業の雇用者数の推移をみると、平成25(2013)年時点で60～64歳の雇用者は459万人、65歳以上の雇用者は375万人となっている(図1-2-19)。
- ・定年到達者の状況をみると、平成25(2013)6月1日時点において、過去1年間の定年到達者のうち、継続雇用された人の割合は76.5%となっている(図1-2-20)。
- ・近年、経済情勢の急速な悪化を受けて完全失業率が上昇していたが、平成23(2011)年以降は低下傾向にある(図1-2-21)。

図1-2-19 雇用者数の推移（全産業）



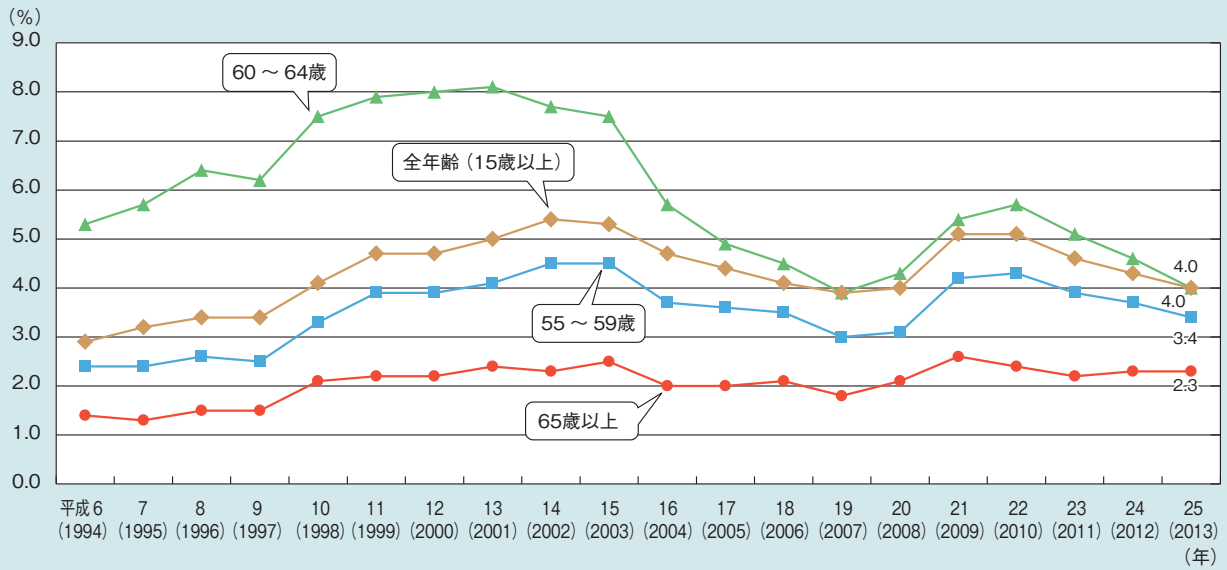
資料：総務省「労働力調査」
 ※平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く44都道府県の集計結果

図1-2-20 60歳定年企業における定年到達者等の状況



資料：厚生労働省「平成25年「高齢者の雇用状況」集計結果」
 (注) 常時雇用する労働者が31人以上の60歳定年企業のうち、過去1年間（平成24年6月1日から平成25年5月31日）における定年到達者を集計。
 今回の集計における定年到達者については、平成24年6月1日～平成25年3月31日の10か月間は「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」改正前の旧制度下の状況、平成25年4月1日～平成25年5月31日までの2か月間は改正後の状況となっている。

図1-2-21 完全失業率の推移



資料：総務省「労働力調査」

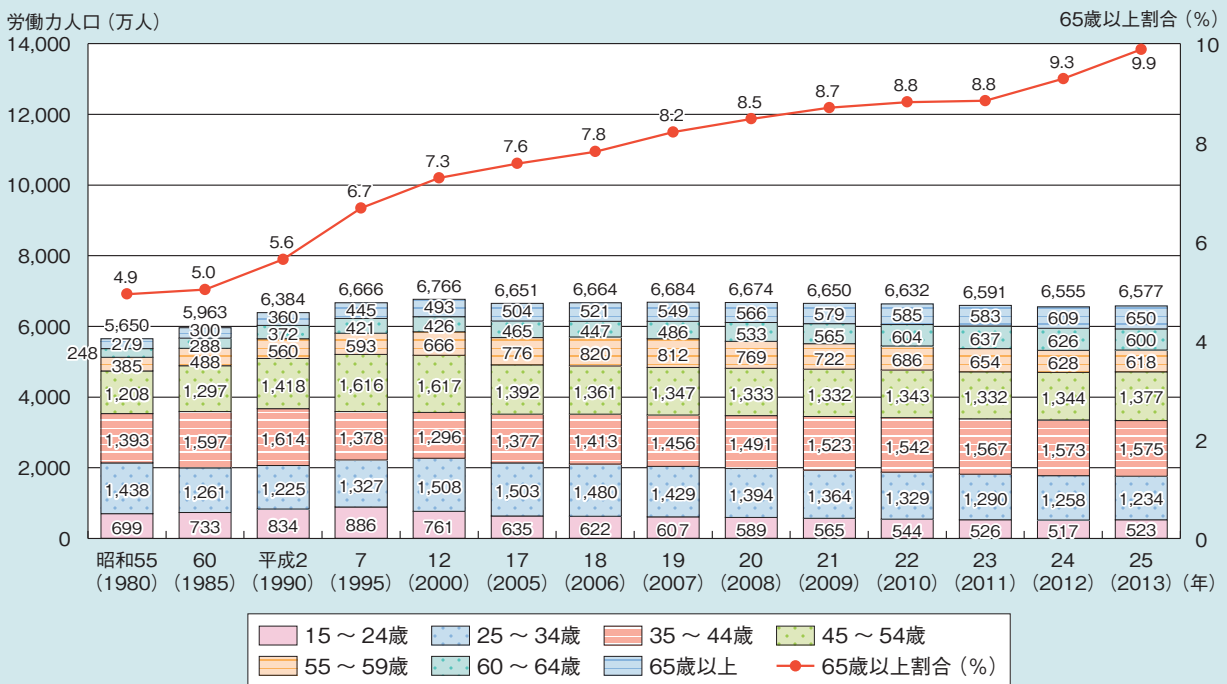
(注1) 年平均の値。

(注2) 平成23年は岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となったため、補完的に推計した値を用いている。

○労働力人口総数に占める65歳以上の人の比率は昭和55（1980）年から大きく上昇

- ・平成25（2013）年の労働力人口は、6,577万人であった（図1-2-22）。
- ・労働力人口総数に占める65歳以上の人の比率は9.9%となり、昭和55（1980）年の4.9%から大きく上昇している。

図1-2-22 労働力人口の推移



資料：総務省「労働力調査」(年齢階級別労働力人口及び労働力人口比率) より内閣府作成

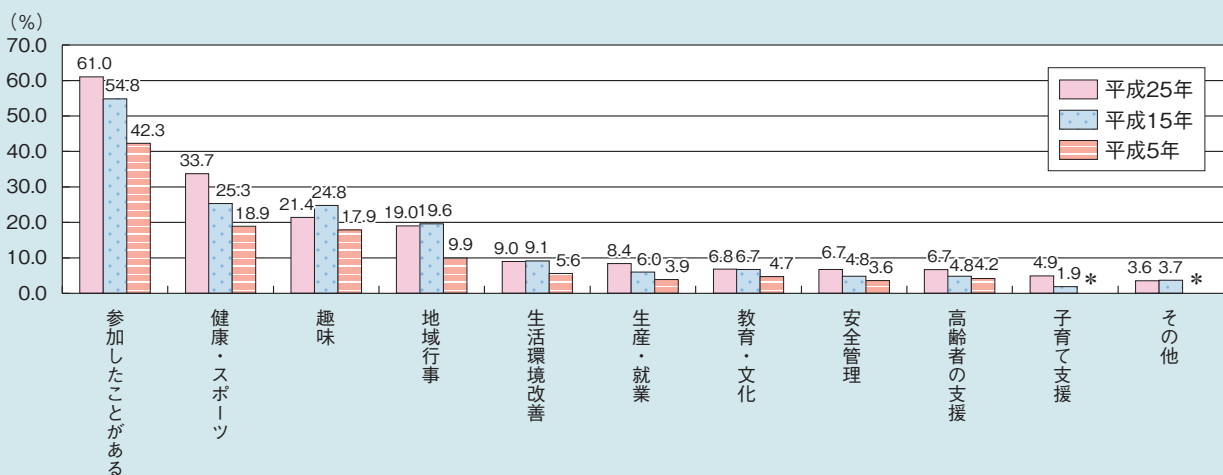
(注) 「労働力人口」とは、15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたものをいう。

5 高齢者の社会参加活動

○グループ活動に参加している高齢者は約6割で、今後参加したい高齢者は約7割

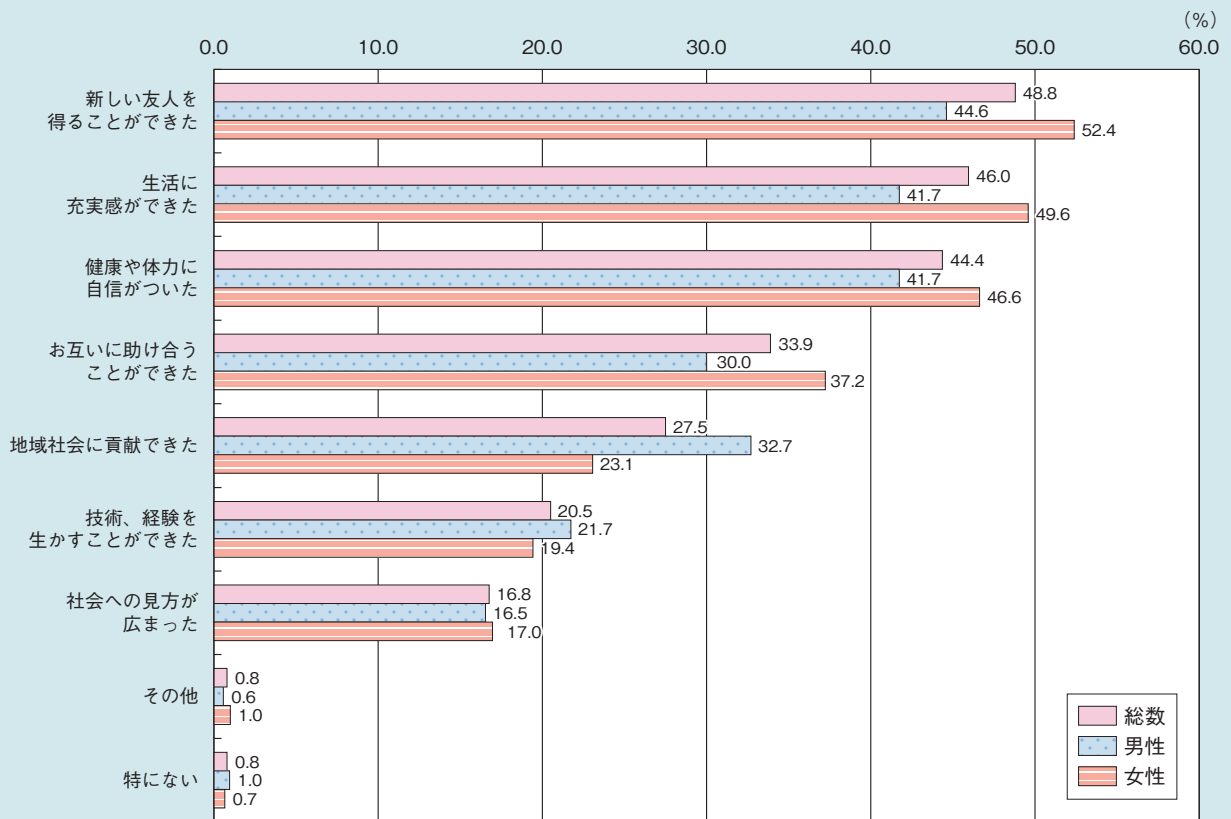
- ・60歳以上の高齢者の61.0%は何らかのグループ活動に参加しており、10年前と比べて18.7ポイント増加（図1-2-23）。
- ・自主的なグループ活動に参加している高齢者の、活動全体を通じて参加してよかったことは、「新しい友人を得ることができた」（48.8%）が最も多く、次いで「生活に充実感ができた」（46.0%）、「健康や体力に自信がついた」（44.4%）の順となっている（図1-2-24）。
- ・高齢者が参加したい団体をみると「趣味のサークル・団体」（31.5%）が最も多く、次いで「健康・スポーツのサークル・団体」（29.7%）となっている。また、参加している団体をみると、「町内会・自治会」（26.7%）が最も多く、約4人に1人が参加している（図1-2-25）。

図1-2-23 高齢者のグループ活動への参加状況



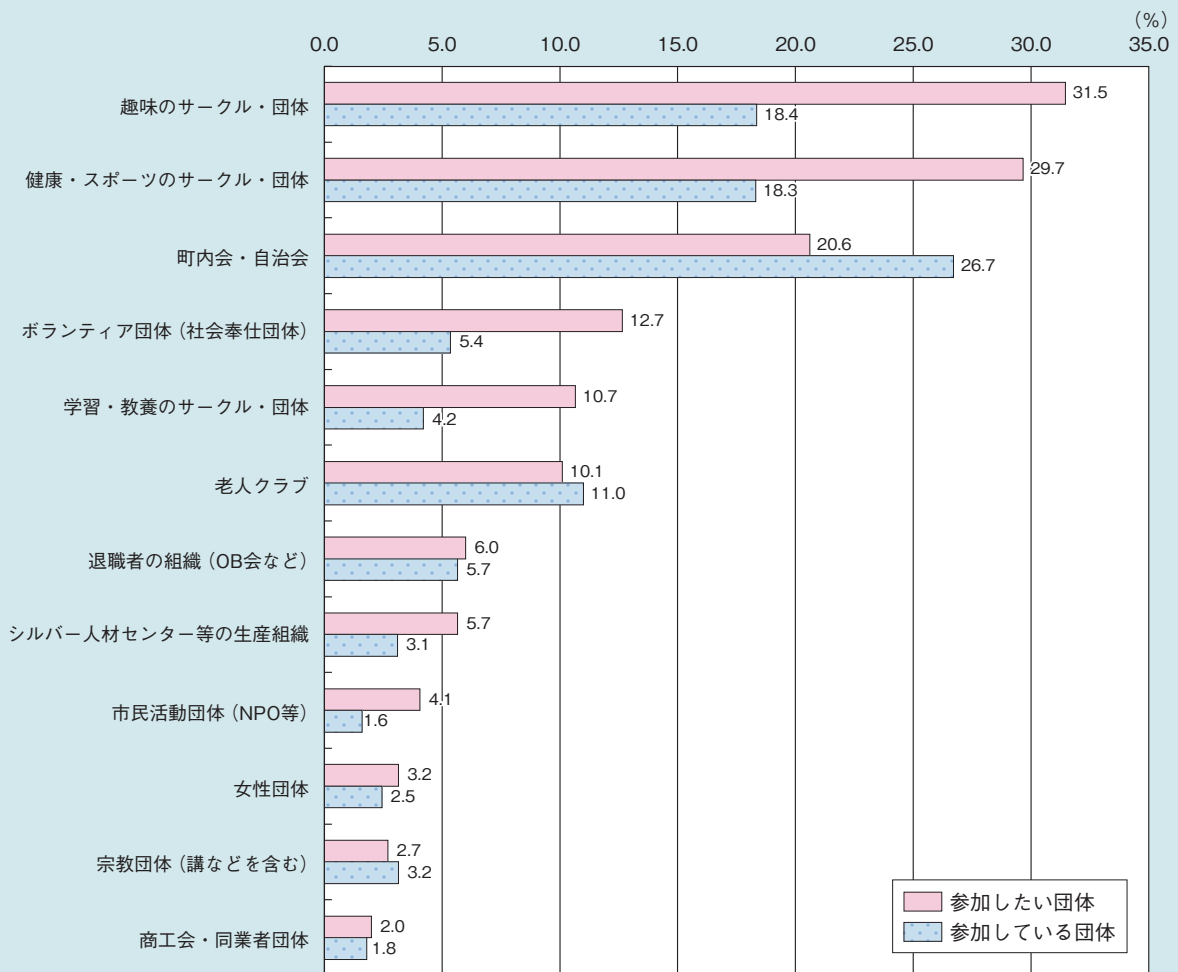
資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）
 （注1）調査対象は、全国の60歳以上の男女
 （注2）*は、調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

図1-2-24 高齢者のグループ活動参加による効果（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）
 （注）調査対象は、全国の60歳以上の男女

図1-2-25 参加したい団体と参加している団体（複数回答）

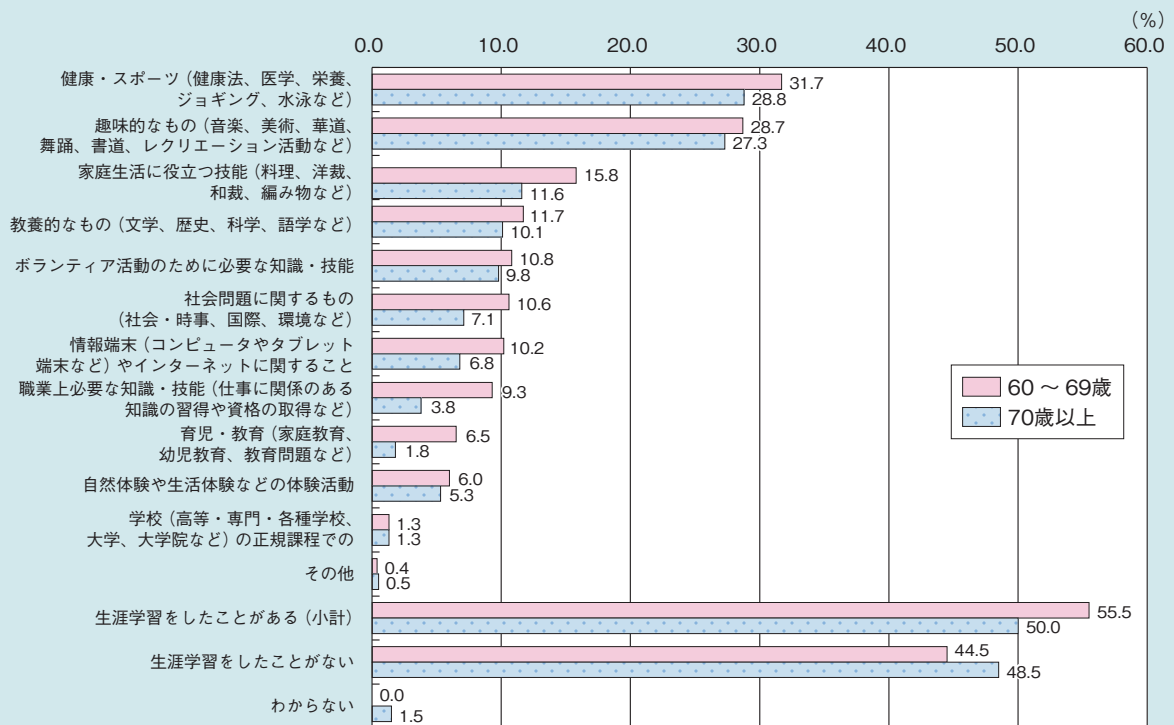


資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成25年）
 （注1）調査対象は、全国の60歳以上の男女
 （注2）「その他」や「参加したくない」などの回答を除く

○高齢者の学習活動

- ・高齢者の生涯学習への参加状況についてみると、この1年くらいの間には生涯学習をしたことのある人は、60代でも70歳以上でも5割以上であった。内容は、「健康・スポーツ」が60代で31.7%、70歳以上で28.8%と最も多い（図1-2-26）。
- ・生涯学習を行っていない理由をみると、60代では「仕事が忙しくて時間がない」（40.8%）が最も多く、次いで「きっかけがつかめない」（20.9%）となっている。70歳以上では「特に必要がない」（19.8%）が最も多い（図1-2-27）。

図1-2-26 高齢者が行っている生涯学習（複数回答）



資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」（平成24年）

（注）調査対象は全国20歳以上の日本国籍を有する者だが、そのうち60歳以上の回答を抜粋して掲載